

株式会社イシイナーセリー
雇用型インターンシッププログラム

(タマリユウ／対象者：ゼネラルマネージャー型人材)

当法人における人材育成目標

3年後の到達目標

- ✓ タマリユウの生産・管理について、責任者として品質を担保できる人材。
- ✓ そのために現場で必要なことを、生産や出荷等を含む一段高い視点から判断し、作業員や他の社員に指示しながら、高品質タマリユウ生産をけん引できるゼネラルマネージャー的人材。

経営者・経営陣としての考え

【会社の特徴】

- 産地としての信用力と、タマリユウ生産に適した気候風土の活用によって、経営の基盤を築けている。
- これまで社長が担ってきた品質管理の「眼」を後継する人材を育成したい。

【採用後に求めるもの】

- 毎日行う終礼の場で振り返りや疑問解消を実施。①問いをもって業務にあたること、②学んだこと、感じたことを言葉で記憶・記録する習慣を持ってほしい。

法人で求める基礎的な素質

【求める人物像】キーワード：前向き・素直さ／全体を把握する思考／チャレンジ精神

生産面：

- ①まじめな人・前向きで素直な人
- ②物事を全体的に見られる／それを心がけている人
- ③（可能であれば）パワーポイント、エクセル等を用いた事務作業にも前向きに取り組める人

経営・管理面：

- ①新しい方法を積極的に試そうとする姿勢を持つ人
- ②産地における「生産量」「品質」の両方の重要性を理解し、その向上・拡大への意欲を持つ人

先輩社員の声



入社6年目 古林さん
(管理担当)

地元鈴鹿出身で、小学校の頃から接点が多かった「農福連携」に携わりたく、農業大学を卒業後に入社しました。工夫すれば、障害のある人にお願ひできる作業は沢山あり、日々試行錯誤しながら取り組んでいます。社長は、私の振る舞いをみて必要な指導をしてくださり、考え方や観察の眼が徐々に身に付いてきているのを感じています。10年を目途に自立できる力をつけることが目標です。農福連携は継続しながらも、花木、タマリユウが強い地域なので、地域の強みを取り込みながら経営できたらと考えています。

OJT受入法人の概要

株式会社イシナーセリー 概要

1971年創業。国内有数の植木産地である鈴鹿市にあって、屋上緑化のカバープランツとして根強い人気を持つ「タマリユウ」の出荷量日本一を誇る企業。2011年に特定非営利活動法人ベルプランツを設立し、当時少なかった就労継続支援A型事業所として「きらら」を発足、農福連携にも早くから取り組んできた。気候風土に基づく産地の強みと、働きやすさを追求した現場改善の積み重ねで、安定した経営状況を実現している。

法人名	株式会社イシナーセリー
代表者名	代表取締役 石井正二
主な経営作物	タマリユウ（専作）
その他事業	農福連携
従業員数	イシナーセリー 役員除き2名（作業の一部を委託）
関連会社	特定非営利活動法人ベルプランツ (https://www.belleplants.com/)

国内有数の植木産地

タマリユウひとすじ

農福連携

農場長 候補者募集

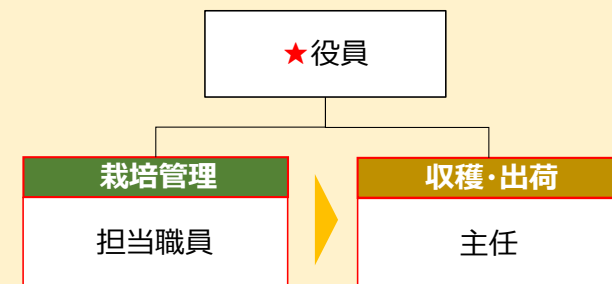
高品質

タマリユウ出荷 日本トップ

就労継続支援A型事業所

産地維持・独立支援

指導体系



OJTによる指導内容

- 生産、管理、収穫・出荷...先輩社員による作業指導
- 管理業務については、随時社長による指導（観察すべきポイント、判断基準についてのレクチャー）

☆...受入責任者

赤枠...受入の主な部署

コース特徴	指導体制	継続雇用の有無
① 量と質における明確な強みをもった「日本一」の農業法人で学べる ② 3年間、タマリユウ生産管理に関する現場研修を通じ、短期間で希少人材になれる ③ 県内の農福連携事業の先駆者として培った、作業性向上のためのノウハウに触れる ④ 研修を受ける中で意向の変化があれば、地域内での独立に向けた支援も可能	担当者 栽培管理、その他サポート：役員 OJT、現場指導：主任ほか担当職員	有 (マネージャー人材としての 就職を推奨)

目指す習得スキルと学びのテーマ

※研修生の意欲、成長度合いを見ながら、できる限り希望に沿った経験の機会を提供できます。



